【懇談会開催趣旨】

次期社会資本整備重点計画（以下「次期重点計画」という）は、東北圏の将来ビジョンをまとめた東北圏広域地方計画（以下「広域地方計画」という）を実現するための最も重要な政策手段を定めるものであり、東北圏広域地方計画との「車の両輪」として機能することを念頭に策定するものである。

東北圏広域地方計画は、２１世紀前半期を見据えて今後１０年間の国土の形成に関する基本的な方針、目標、広域的な見地から必要と認められる主要な施策等を示すものである。

現行の社会資本整備重点計画については、平成１５年度から平成１９年度までの五箇年計画となっており、平成２０年度から次期重点計画を策定することとしている。

このため、次期重点計画は、東北圏広域地方計画と調和を図るとともに、現行重点計画のフォローアップによる課題を明らかにし、今後の社会情勢の変化や財政状況を踏まえ、必要な見直しを行う必要がある。

また、今回は東北圏広域地方計画の策定対象区域と整合を図るため、新たに新潟県を含めて計画を策定するものである。

このような背景のもと、東北ブロックの社会資本整備のあり方について、識者からご助言をいただくものである。